

情報理工学部 情報メディア工学科【学位授与の方針】

情報メディア工学科は、下記の目的に基づき、定められた課程を修得し、関連分野の研究テーマに関する卒業論文を作成提出し、その研究内容を発表し審査を受けて、合格に達した者に対して学士（情報理工学）を授与する。

<教育研究上の目的(理念・目的)>

情報メディア工学科は、情報メディア技術の素養、情報メディアコンテンツ制作を支える資質を持つ技術者の養成を目的とする。すなわち、IT基礎技術、各種設計技法、アプリケーションソフトウェアなどの教育、研究を行い、3次元CGや画像処理などのデジタル映像処理技術、デジタルサウンド、Webアプリケーション技術などの情報メディアと呼ばれる技術を駆使して、今後、増え続けるであろうIT応用サービスに関する社会的ニーズに対応するべく、情報通信技術を情報の媒体と捉えた応用システムの考案、開発を担う技術者いわゆるメディア技術者の育成を目標とする。

<学習成果(教育目標)>

1. 情報理工学における基礎知識を有し、社会の要請に応えるために、メディア工学の基本技術を活用できる能力があること。
2. 情報技術と関連専門分野の基礎力を有して、自立的に応用展開を図る能力を身につけていること。
3. 情報理工学の知識と技能を用いて、社会に貢献できるエンジニア基礎力を身につけていること。
4. 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけていること。
5. 幅広い視野から物事を捉え、深い思考と的確な判断を下すことのできる統合された知の基盤としての十分な教養を身につけていること。